

## 2. 調 査 報 告 書

主任調査員氏名 愛甲美恵子 / 同行調査員氏名 吉原圭子

外部 評価	自己 評価	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	安全かつ健康で温もりのある暮らしが送れるように、地域とともに支え合いながらサービスを提供するホームとしての理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、パンフレットや玄関・共有空間の随所に提示してあり、管理者や職員は理念の大切さ等を意識しながら、日々のケアに取り組み活かしている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	開設当初から地域の自治会に加入し、地域の一員として活動・交流し、行事等にも積極的に参加したり、ホームの行事にも参加してもらったりしている。また、地域住民の相談を受けたり集落の役員等の交流の場にもなっている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者・管理者・職員は評価の意義を十分理解しており、職員全員で自己評価に取り組んでいる。外部評価の結果についても、サービスの向上に向け、具体的な取り組みに活かされている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	参加者それぞれの立場から活発な意見交換がなされており、提起された問題についても前向きに検討がなされ、今後の活動の取り組みについて方向性が示されている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者や包括支援センターと積極的な交流を図り、サービスの質的な向上のため取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族来訪時に、その都度時間を設け報告をしたり、ホーム独自のホームページを活用して遠方のご家族の方などに報告をするというタイムリーな報告がなされている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や第三者委員、運営推進会議の家族委員等から意見を聞く機会を設け、運営に反映させている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	開設以来、出産にて一人退職したのみで馴染みの職員による支援を続けている。運営者や管理者は、意味を十分理解している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、ホームや職員の質の重要性を認識し法人内外の研修の機会を積極的につくっている。介護福祉士の資格取得も4名あった。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	運営者の理解の下、地域に同業者同士の交流の場のネットワークができており、活発な情報交換や研修が行われている。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員や他の利用者と馴染めるように、入居前に何回かホームの見学、体験入居するなどスムーズな利用ができるよう工夫されている。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々の暮らしのあらゆる場面で、入居者の得意分野では、職員が学び・共に支え合う関係を日頃から心がけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の生活の中で、利用者一人ひとりの思いや希望の把握に努め、困難な人には家族からの情報提供を依頼している。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者本人はもとより家族からの意見や要望を聞き、日頃の関わりのなかで、職員の気づいたことからミーティングやモニタリングを行い、本人中心の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	本人、家族の要望や状態変化時は介護計画の見直しを関係者と話し合い、随時行っている。変化のない場合も6ヶ月から12ヶ月で見直しを行っている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	密な医療連携体制を活かしながら、終末期の対応、訪問看護、家族の宿泊や独居高齢者の家庭訪問等柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の意向を聞き、希望のかかりつけ医を受診をするようにしている。訪問看護や協力医療機関も近距離にあり、連絡が密にとれている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に対する話し合いが家族・医師・看護師を交えてなされている。このホームが終の棲家になるとの施設長の意向を受けて、家族や医師の考えに沿った支援を全員でするという方針を共有している。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、一人ひとりの尊厳の重要性をよく認識しており、本人を傷つけないケアを心がけて個人情報の取り扱いに関しても、十分な対応が行われている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床が朝の4～5時であっても、お茶で対応したり、散歩も日に2回行うなど一人ひとりのペースや希望を大切に、自然体で過ごせるように工夫・支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を決め、食材の購入、下ごしらえ、調理、盛りつけ、片付けなどできることには参加し、和気あいあいと楽しんで食事をしている。畑には季節の野菜等を作り食材に活かしている。月に1回は、外食などを行い、それぞれの好みのメニューを選んでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、みんな好きで、楽しみなことの一つであり、毎日一人ひとりの希望やタイミングで入浴できるように支援されている。また、月1回温泉に行つての入浴も楽しみにされている。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作りや片付け、洗濯物干しや掃除、畑仕事等できそうなことをしてもらう。みそ作りやそば打ち等利用者の得意分野が発揮できるようにそれぞれの楽しみごとや気晴らしも考慮され支援されている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそつて、戸外に出かけられるよう支援している	本人の希望に合わせて散歩や買い物、ドライブ、墓参り、お見舞い等戸外に出かけられるように支援している。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけない暮らしの大切さを開所当初から十分理解されており、安全面に配慮しつつ、玄関にチャイム設置している。地域ぐるみで見守ってもらう等日中のケアに取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	毎月1回定期的に、夜間を想定して災害時の訓練をホーム内で行っている。マニュアルを作成し、年2回、消防署、消防団員（地域の人々）の協力を得て、消火・非難訓練も実施している。救命救急士のいる施設として指定されている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分摂取量、残食チェックを行うとともに、栄養のバランス等は管理栄養士によりチェックしている。入居者の嗜好、馴染みの物などにも配慮している。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には、利用者家族の持参した置き物や絵画、利用者本人が描いた絵が飾ってあったり、また利用者といっしょに飾り付けた壁飾りやカレンダー等季節感を取り入れたりして、くつろげる空間をつくるなど工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇やテレビ、カセット等入居者の馴染みの物が置かれ、居心地よく過ごせる工夫がされている。		

※  は、重点項目。